

専務取締役  
尾上さん(株)モクモク しお学舎  
〒519-3922  
三重県尾鷲市古江町192  
TEL 0597-27-3030  
<http://www.shiogakusha.com/>

商品のラインナップが  
増えました。  
モクモク  
しお学舎

それぞれの塩の特徴を  
活かした「塩」アイテム！  
しお学舎さんをお訪ねする  
と、尾上専務が廊下をかけてき  
て、「今夏はゆで卵にかけると  
おいしい塩」と塩サイダーを発売  
しますよ」と話されました。

○○にかけるとシリーズのお塩  
は、5種類あるのですが、それ  
ぞの特徴が上手いかざされています。たとえば、おにぎりのお塩  
はすぐに浸透しないよう、大粒  
にして、パラツとかけてもらえる  
ように工夫しているようです。  
塩サイダーは、昔懐かしいサ  
イダーに程よい塩味の仕上がり  
になるように、只今製作中。いつ  
もながら豊かな企  
画をされ  
ている、  
しお学  
舎さん  
です。

社長の  
阪西さん(株)曾根 塩の介  
〒519-3924  
三重県尾鷲市曾根町610-3  
TEL 06-6370-1686 (大阪事務所)  
<http://www.soneen.exblog.jp/>

製塩システム。  
曾根 塩の介

土釜で炊き上げる  
究極の「塩」  
土釜がつくりあげる

工房に入るとまず目につくのが「3つの大きい土の釜」(社長の阪西さんが、熱く語ってくれました)。「この釜の外についている白い結晶鏡!」土釜で炊く事でミクロの気泡が良いろ過の役目をするのか不純物(塩のえぐみ)が釜の外へと出てくる。塩の介さんはこれが3回繰り返す。その後上がった塩は、本当にさわさらで水に入れる。すると、塩の介さんは、「この塩を使つて手づくりパンをつくり、京都府亀岡の方で宅配のベーカリーをしています。

お地元に根ざした  
お店として、これまで観光客の方を対象とした店づくりをしてきました。尾鷲の中心街にある「おどとは(株)尾鷲物産直営の特産品販売施設としてこれまで観光客の方を対象とした店づくりをしてきました。が、地元にも愛され、お店として、今年3月にリニューアルオープンしました。

「おどとは(株)尾鷲物

〒519-3612  
三重県尾鷲市林町1-33  
TEL 0597-22-2323  
<http://www.owasebussan.co.jp>

生産者とお客様を  
結ぶ役目を担う、  
地元のお客さんに  
愛される店。

尾鷲の地物・鮮魚・野菜・たまご・牛乳と尾鷲ならではの「地物」を沢山置くことで、お客様は新鮮なものが手に入り、地域の経済的效果や後継者の育成にも役立ちました。また、生産者さんは、「おどとは(株)尾鷲物産直営の特産品販売施設としてこれまで観光客の方を対象とした店づくりをしてきました。が、地元にも愛され、お店として、今年3月にリニューアルオープンしました。」と、がんばっています。りんごがんばっていきます。りんごがんばっていきます。

うにがんばろう」と一つの

地元客が増加しました。も

ちろん、観光客の方にも、「お

どとは(株)尾鷲物産直営の特産品販売施設としてこれまで観光客の方を対象とした店づくりをしてきました。が、地元にも愛され、お店として、今年3月にリニューアルオープンしました。」と、がんばっています。りんごがんばっていきます。

うにがんばろう」という

地元客が増加しました。も

ちろん、観光客の方にも、「お

どとは(株)尾鷲物産直営の特産品販売施設としてこれまで観光客の方を